

令和5年度 消費者志向自主宣言・フォローアップ報告 (PDCAシート)

令和5年10月31日

事業者名：株式会社ネオビエント

代表者名：代表取締役 藍原理津子

取組方針 (要約)	活動実績 (概要)	継続 (改善)	新規	参考資料	
I. お客様や地域の皆様の声に誠実に耳を傾け、柔軟に対応し、満足を超えた「感動」を提供し続けること					
(1)利用者ニーズの反映	あすたむらんど徳島	①「Happy Xmas2022」イルミネーション等の規模拡大	○		資料ページ 1
		②利用者ニーズを反映させた作業メニュー		○	資料ページ 1
	渦の道・大鳴門橋架橋記念館	③インバウンドへの対応	○		資料ページ 2
		④鳴門公園活性化への取り組み	○		資料ページ 2
	四国大学交流プラザ	⑤ハンドドリップによるコーヒーの提供		○	資料ページ 2
	川口ダム自然エネルギーミュージアム	⑥ドローン操縦体験イベントの実施		○	資料ページ 3
(2)利便性の向上	あすたむらんど徳島	①申請書のダウンロード開始		○	資料ページ 3
	渦の道・大鳴門橋架橋記念館	②鳴門公園駐車場から施設までの多角的な案内	○		資料ページ 3
	川口ダム自然エネルギーミュージアム	③安全な来館ルートを紹介		○	資料ページ 4
	とくしまマルシェ・イベント運営	④「とくしまマルシェ」3カ月先の告知開始		○	資料ページ 4
II. 社員同士が互いに意見を言い合える環境を作るために、社員一人一人に誠実に向き合い笑顔あふれる企業をめざすこと					
(1)互いの個性・考えを理解し、同じ目的に向かう	①働きやすい職場環境を目指した社員研修		○		資料ページ 4
	②社内講師による実務研修		○		資料ページ 5
	③定期的なヒアリングの実施		○		資料ページ 5
	④業務効率化部会での取り組み		○		資料ページ 5
	⑤定期的な会議の開催		○		資料ページ 6
(2)働きやすい環境づくりの実践	①プラチナくるみん認定の継続		○		資料ページ 6
	②「えるぼし」3つ星認定			○	資料ページ 6
	③長時間労働の削減に向けた取り組み		○		資料ページ 7
	④資格取得の促進		○		資料ページ 7

取組方針（要約）	活動実績（概要）	継続 (改善)	新規	参考資料	
	⑤コミュニケーションスキルアップ部会の取り組み	○		資料ページ 7	
Ⅲ. 地域にとって永年愛される企業となるために、「損得」ではなく「善悪」で行動する健全経営に努めること					
	①経営計画書に基づく行動への変化	○		資料ページ 8	
	②評価システムを使った会社の考えの共有	○		資料ページ 8	
取組方針（要約）	活動実績（概要）	継続 (改善)	新規	参考資料	
Ⅳ. 消費者・社会の要望を踏まえた改善（未来・次世代のために向けた取組み）					
SDGs を踏まえ、事業を通じて地域課題に取り組む	あすたむらんど徳島	①STEAM教育の推進	○		資料ページ 9
		②「よくとぶひこうき」の実施	○		資料ページ 9
		④「あすたむ子ども会社」の設立		○	資料ページ 10
		⑥女子中高生の理系進路選択支援プログラムの実施		○	資料ページ 11
		⑦「あすたむで水の大切さを学ぼう」の実施	○		資料ページ 12
		⑧「親子ふれあい学習inあすたむらんど」の実施	○		資料ページ 12
		⑨「お菓子なおもちゃと木のおもちゃ」の実施	○		資料ページ 12
		⑩「スイーツレジンチャーム」の実施	○		資料ページ 13
		⑭「阿波ふうどフェスティバル」の実施		○	資料ページ 14
	⑮生態系を学ぶイベント		○	資料ページ 15	
	渦の道・大鳴門橋架橋記念館	⑤「コウノトリ」の紹介		○	資料ページ 10
	四国大学交流プラザ	⑫「TAG-RI-BAカフェ」の運営	○		資料ページ 13
	川口ダム自然エネルギーミュージアム	⑬木の廃材等を使用した工作メニューの提供	○		資料ページ 14
	とくしまマルシェ・イベント運営	③「子ども自動車教習所」の実施	○		資料ページ 10
	⑪SDGsワークショップの実施	○		資料ページ 13	


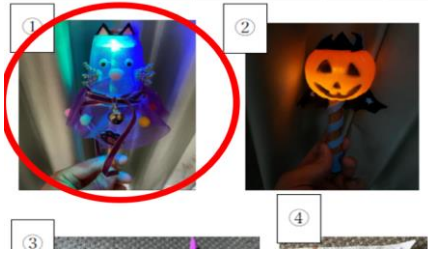
1. お客様や地域の皆様の声に誠実に耳を傾け、柔軟に対応し、満足を超えた「感動」を提供し続けること

(1)利用者ニーズの反映

①「Happy Xmas2022」イルミネーション等の規模拡大

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島で「Happy Xmas2022」を実施。テーマを「¡Qué emoción! ～感動～」とし来園していただけのお客様に笑顔と更なる感動を提供するため、従来よりお客様より要望の多かった「エリア拡大」「飲食提供の充実」を実現し、令和3年度よりもイルミネーションを5万球増設、県内最大の球数（35万球）を設置した。また、音楽に連動させてイルミネーションを点灯する演出も行った。</p>	<p>実施日：令和4年12月3日～30日 参加者数：37,776名 従来立ち入り禁止としていたエリアにイルミネーションを設置し開放した。また、複数のキッチンカーを配置し、寒い中お越しいただいたお客様に温かいドリンクや軽食を毎日提供できる環境を整えた。参加者からは「毎年変化があって楽しい。来年も来ます。」「子ども連れなので、飲食が充実していて助かった」「音楽連動もあるしエリアも拡大している。スタッフの頑張りに感動しました。」等のお声をいただいた。</p>		

②利用者ニーズを反映させた工作メニュー



実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等										
<p>あすたむらんど徳島の「体験工房」では、お客様のニーズに沿ったメニューを作成するため、工作メニューのアンケートを職員と「体験工房」を利用されたお客様に実施した。その結果、部署内の意見だけでなくお客様のご意見を反映させたメニューを提供することができた。 アンケート実施時期 ・クリスマス工作メニュー 令和5年5月13日～6月3日 ・ハロウィン工作メニュー 令和5年7月6日～7月14日</p>	<p>クリスマス工作メニュー 391件 ハロウィン工作メニュー 121件 「多くの工作メニューがあることが分かり、その中から自分が希望したメニューを体験できてよかった」という声が多く聞かれた。</p>		<p>アンケート集計</p> <table border="1" data-bbox="2062 1197 2608 1275"> <tr> <td>期間：7/6～7/16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般アンケート</td> <td>総数：</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>職員アンケート</td> <td>総数：</td> <td>41件</td> </tr> </table> 	期間：7/6～7/16			一般アンケート	総数：	80件	職員アンケート	総数：	41件
期間：7/6～7/16												
一般アンケート	総数：	80件										
職員アンケート	総数：	41件										



### ③インバウンドへの対応

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>日本語だけで実施していた「渦の道」の館内アナウンスを令和5年1月から日本語、英語、中国語の3カ国語で流すようにした。外国人観光客もコロナ前の80%まで戻り（令和5年10月時点）、サービス向上につながっている。</p> <p>また、入館時に海外からお越しの方には、国名をお聞きしたうえで、英語、中国語、韓国語のリーフレットとともに、日本文化のプレゼントとして絵葉書とスタッフ手作りの折り鶴をお渡ししている。</p>	<p>館内アナウンスは、下見に来ていただいた海外のAGから好評で、「聞きやすい」「分かりやすい」といった声をいただいている。折り鶴等は、お伝えすると皆さん笑顔になり、「ありがとうございます、すごくきれいです」といった声を多くいただいている。</p>		


### ④鳴門公園活性化への取り組み

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>渦の道・大鳴門橋架橋記念館では、ゴールデンウィーク及びお盆期間に鳴門公園事業者等と連携を図りながら渋滞対策事業を実施した（令和5年度ゴールデンウィーク4日間、お盆期間3日間実施）。「鳴門公園第1駐車場」「千畳敷展望台」「観潮船乗り場付近」など公園全体を循環するシャトルバスを運行させ、各乗り場に案内人を配置することで鳴門公園全体の活性化となるよう努めた。</p>	<p>「行きたかった施設を全てシャトルバスで回れた」「利用施設の最寄りまで移動できるためお年寄り連れや小さなお子様連れには助かる」といったお褒めの声をいただいた。</p>		

### ⑤ハンドドリップによるコーヒーの提供

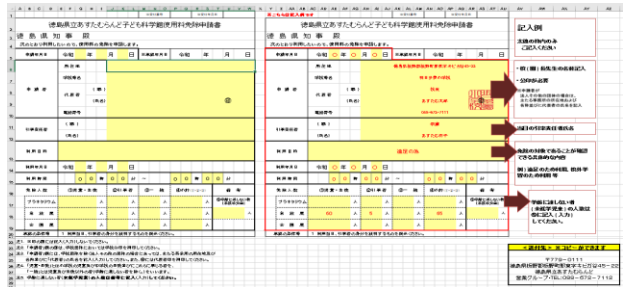
実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>四国大学交流プラザの「TAG-RI-BAカフェ」で提供しているホットコーヒーはマシンで抽出しているが、最少3杯からの抽出設定のため1杯のみご注文のお客様でも3杯抽出完了までのお時間をいただいていた。令和5年1月中旬より、時間短縮と美味しさを求め、2杯以下の注文はハンドドリップに変更した。</p>	<p>利用者から「さらに美味しくなった」とのお声をいただいている。</p>		

## ⑥ドローン操縦体験イベントの実施

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>「川口ダム自然エネルギーミュージアム」では、「ドローン体験をしてみたい」とのお客様の声を受け、令和5年6月4日、5日、11日、12日にドローン操縦体験のイベントを実施した。</p>	<p>ドローン特区那賀町をアピールするとともに、家族連れの方にもドローンを身近に感じていただくことができるイベントとなり、大変好評であった（参加者数36名）。</p>		

## (2)利便性の向上

### ①申請書のダウンロード開始

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島「子ども科学館」では、これまで団体利用申込後にFAXで送付していた「子ども科学館使用料免除申請書」を令和5年8月からHP上でダウンロード可能とした。ダウンロードデータはPDFとExcelの2種類用意し、記入事例も参照できる仕様とした。また、申請者が戸惑いがちな項目について注釈を追加、利用時間を24時間表記に改めるなど申請書フォーマットを改定した。</p>	<p>学校団体から「Excel入力ができることで作成時間の短縮になり助かる」「書き損じがあっても、訂正が容易になりありがたい」等の声があり快適に利用いただいている。</p>	<p>子ども科学館使用料免除申請書について</p> <p>徳島県内の小学校、中学校、高等学校の児童、生徒及びこれらに準ずる者並びにこれらの引率者が、教育課程に基づく学習活動として子ども科学館を利用される場合は、子ども科学館使用料免除申請を行うことで使用料が免除となります。申請を希望する学校団体等は「子ども科学館使用料免除申請書」をダウンロードし、来園の2ヶ月前までに「あすたむらんど徳島」へ郵送してください(FAX不可)。</p> <p>子ども科学館使用料免除申請書</p> <p>※公印が必要 ※送付先：〒779-0111 徳島県板野郡板野町那東字キバガ谷45-22 あすたむらんど徳島 営業グループ宛 ※記入例についてはこちらをご覧ください。</p>	

### ②鳴門公園駐車場から施設までの多角的な案内

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>「渦の道」では、以前からホームページで鳴門公園駐車場から施設までの地図を公開していたが、令和5年3月22日、ホームページのリニューアルに伴いお客様の更なる利便性向上に向け、順路どおりに風景写真を並べた画像案内に変更。また、バリアフリールートも案内し多様性のある観光客受入れを目的に整備した。</p>	<p>電話問い合わせで説明する際に利用者から「分かりやすくなった」とのお声を多くいただいている。</p>	<p>第一駐車場から、各施設へのアクセス</p> 	<p>バリアフリーのルートも掲載</p> 



### ③安全な来館ルートを紹介

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>「川口ダム自然エネルギーミュージアム」では、「カーナビの設定では険しい山道を案内された。安全なルートで来館したい。」とのお客様の声に対して、令和5年7月中旬からHP上や電話で安全な道順を案内している。</p>	<p>アンケートで「職員の方が親切に道案内してくださいました」との声をいただいた。</p>	<p>Q 徳島市内からの道順を教えてください。</p> <p>A 国道55号線バイパスを阿南方面に走り、小松島市大林北の交差点を右折して130号線（高知方面）に入ります。そのまま直進して那賀川橋を渡り、一つ目のガソリンスタンドのある信号を右折し24号線へ入ります。さらに直進したのち、右側にコンビニのある信号を南部県民運動公園方面（195号線）へ。その後は直進してください。地図は<a href="#">アクセスページ</a>をご確認ください。</p> <p>※カーナビで検索した際に、最短距離で表示される勝浦町鶴林寺近くを通過するルートはかなり道幅が狭くなっています。ご注意ください。</p>

### ④「とくしまマルシェ」3カ月先の告知開始

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>「とくしまマルシェ」において、「先々のスケジュールや情報を早く知りたい」等の声が多くあったため、令和5年7月より「とくしまマルシェ」のチラシを毎月発行から3カ月分まとめて発行、より広く手に取ってもらえるよう観光施設など設置場所も増やした。</p>	<p>「欲しい情報がまとめられており見やすくなった」「スケジュールが立てやすくなった」「チラシが手に入れやすくなった」等、お声を多くいただいている。</p>	


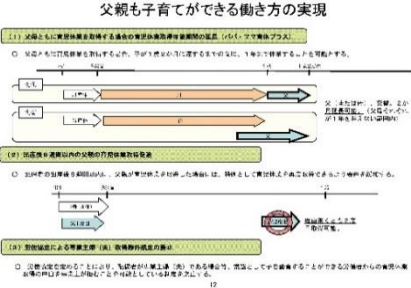
## Ⅱ. 社員同士が互いに意見を言い合える環境を作るために、社員一人一人が誠実に向き合い笑顔あふれる企業をめざすこと

### (1)互いの個性・考えを理解し、同じ目的に向かう

#### ①働きやすい職場環境を目指した社員研修

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>令和5年6月12日、鳴門施設（渦の道、大鳴門橋架橋記念館、鳴門駅前観光案内所）合同社員研修を実施、コミュニケーション・モチベーションアップ研修では、グループワークやミーティングを通してディーセントワークについて考えた。働きやすい職場環境の実現に向けて、互いの意見を尊重できるよう研修内容についてブラッシュアップを図った。</p>	<p>日頃から全社的にディーセントワークについて取り組んだ結果、職場体験学習で来館された学生や社会人の方から、働く上での姿勢や職員の関係性についての学びが多くあったと手紙や報告書を通して感謝の言葉をいただいた。また、四国大学交流プラザでも講座受講生から社員の誠実で丁寧な対応に感謝の手紙をいただいた。</p>	

## ②社内講師による実務研修

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>社員が自ら講師を務める研修を継続して実施している。コロナ禍で対面研修自体が困難であったことから、オンラインに適さないテーマの研修が実施できなかったものの、育児体験をこれから子を育てる若い社員に伝えたり、YOUTUBE動画制作をテーマに研修を実施することで、社員間の交流が深まり、施設・部署を超えた知識伝達が行われている。</p>	<p>育児制度の活用や会社への申請など、普段聞けないことが聞けたと好評であった。YOUTUBE～では、効率のよい作業方法が身についたほか、詳しい人に尋ねることで疑問の解消につながった。</p> <p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イクメンのすすめ</li> <li>・YOUTUBE動画制作など</li> </ul>		

## ③定期的なヒアリングの実施

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>全社員を対象に働きやすい職場環境づくりを目指し、悩みや困りごと、また本人の将来設計などを年2回（夏・冬）ヒアリングしている。直属の上司・部署外の上司と1回ずつ、毎回人事担当者が同席のうえ話を聞いている。聞き取った話のうち、課題や問題に対して、その場で解決できるものは対処し、部署での対処が必要なものは本人の上長に対処を指示している。また重要な課題に対しては役員会で検討し、本人と話し合いを進めるなど解決に導いている（設問内容：職場の雰囲気、仕事内容や業務量、今後の働き方、会社への要望等）。</p>	<p>職場のコミュニケーション不足の解消や慣習のうち不要になった作業の見直しなど、社員の感じている課題や問題、疑問などを解決することで、仕事に対する士気も高まっている。また対象者全員に事前アンケートを取り、問題の事前整理やヒアリング時間の短縮（効率化）に役立てた。</p>		

## ④業務効率化部会での取り組み

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>令和3年に「働く時間の軽減（残業減少・休暇取得促進）及び会社の利益率の向上」を目的として創設した「業務効率化部会」において、各施設・部署における改善実施事項の内容や手法とその効果を毎月確認して、有用な改善は全社に展開して共有を図っている。</p>	<p>令和4年度には全社的な決裁ラインの再構築をはじめ、各施設・部署で計画的に整理整頓を行い、誰もが必要な物を探さずに入手できるようにした。また、施設・部署で整理に必要な収納ボックスの数を確認して、まとめて確保したほか、棚の表示物などを見直した。</p>		




## ⑤定期的な会議の開催


実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>役職者会、各部署の会議、安全検討委員会、サービス向上部会は引き続き継続実施しており、令和4年度は社員全員がいずれかの部会に所属した。うち「商品品質向上部会」では、更なる顧客感動を目指して、企画の検討、企画書の作成、実際の提案、振り返りと改良までを行っている。</p>	<p>（各部会での取り組み例）            ・SNS部会…各月の発信に対する反応などの集計からより魅力的な発信について検討している。また社員対象にSNSの利用アンケートを行い、「よく利用しているSNS」や「当社事業で行っているSNSキャンペーンの印象」などについて検討した。            ・商品品質向上部会…「アナログ」「デジタル」「マルシェ」「科学」「天文」の5つのグループごと、企画            ↳「アナログ」…ゴミをリサイクルした「万華鏡づくり」「アイス棒工作」「野菜クレヨン」などのSDGs工作            ↳「デジタル」…「デジタルお絵かき」「ラジコンロボット」「デジタル収穫祭」など            ↳「マルシェ」…出店者のSDGsの取り組みアンケートや、SDGs工作イベントの開催など            ↳「科学」…あすたむらんど徳島子ども科学館の展示解説の見直しや更新に向けての資料整理、全国科学館の展示更新事例など            ↳「天文」…生解説・観望会を充実させるための内容検討やアンケートの実施、「ちびっ子プラネ」など</p>	

## (2)働きやすい環境づくりの実践

### ①プラチナくるみん認定の継続

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>令和元年6月に認定された「プラチナくるみん」の継続認証を受けるための各取り組みを実施している。両立支援策として、①男性の育児休暇取得の更なる促進②未就学児を育てる社員の短時間勤務の促進等を行っている。</p>	<p>①男性の育児休暇取得について令和4年度は1名が1ヶ月間取得した。令和5年度は、10月に1名が24日間取得、もう1名が1月から2ヶ月間取得予定である。②育児休暇中であった女性社員が令和5年9月に復帰し、育児短時間勤務を取得。令和5年度の取得者は、計4名となった。</p>	<p>○厚生労働省HP 「両立支援のひろば」  <a href="https://ryouritsu.mhlw.go.jp/hiroba/company/platinum_update/company_update_3.php?l=9620&amp;m=885296ba2c2c80bd32ce12620f33dd2f&amp;k=2&amp;f=3">https://ryouritsu.mhlw.go.jp/hiroba/company/platinum_update/company_update_3.php?l=9620&amp;m=885296ba2c2c80bd32ce12620f33dd2f&amp;k=2&amp;f=3</a></p>	

### ②「えるぼし」3つ星認定

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出を行い、女性の活躍推進に関する取組である「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の評価項目5つ全てを満たしたため、令和5年5月11日「えるぼし3つ星」（認定段階3）を認定された。</p>	<p>・正社員に占める女性労働者の割合40.7%            ・「女性労働者の平均継続勤務年数」÷「男性労働者の平均継続勤務年数」=75%            ・労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が各月全て45時間未満            ・女性労働者の非正規社員から正社員への転換1名、概ね30歳以上の女性の正社員としての採用1名など</p>		





### ③長時間労働の削減に向けた取り組み

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>平成25年度より社内の横断的な組織「環境構築部」による毎月の残業時間の部署別・個人別の数値管理を継続して行い、毎月の振り返りと残業の原因の特定、その対応を行っている。これまでの「人に依存しない」業務改善の取り組みや、部署内または部署を超えた助け合いが一層徹底された結果は実りつつあり、また勤怠管理のオンライン化などDX化による業務軽減の端緒を掴んだ。結果として、コロナ禍の支援事業や、各施設におけるコロナ禍後の来場者の増加など一時期に業務が集中したことから、全社的には残業時間の短縮に至らなかった。</p>	<p>平均月残業時間：令和4年度（9.6時間） 令和4年度は時間短縮が図られた施設（0.4倍）・ほぼ同じ値の施設（1.2倍）がある一方で、夜間に営業時間を延長した施設（1.9倍）、来場者数が大幅に増加した施設（3.5倍）、一時期に業務が集中した部署（3.8倍）等により残業時間が9.6時間と前年より3.1時間増加した。</p>		

### ④資格取得の促進

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>資格取得補助金支給制度を継続実施している。資格取得の促進を図るために必ず年度始めに制度について再度周知することを義務付けているが、近年はこの制度が社員に浸透し、部署内の先輩から後輩へこの制度を使うよう自然と話をするような雰囲気がある。資格は仕事に結びつくものがほとんどであるが、最近の傾向としては、比較的役職が上の者たちが、部下育成に関する勉強の為利用するパターンも見受けられるようになってきた。さらに以前より、資格の内容にもよるが資格取得により資格手当を給与に付与しており、それぞれが資格取得促進の大きな要因となっている。</p>	<p>令和4年度制度利用件数7件 ファイナンシャル・プランニング技能検定、情報セキュリティ監査アソシエイト、英語研修、イベント検定、手書きPOP講座、高所作業車運転技能講習、日商簿記検定試験</p>		

### ⑤コミュニケーションスキルアップ部会の取り組み


実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>全社的なレクリエーションがコロナ禍のため実施困難であったことから、施設ごとの交流の場づくりを目指した。 ・天候に左右されない屋内でできるもの ・コロナ禍でも、ソーシャルディスタンスを取れるもの 以上の理由から、あすたむらんど徳島ではフライシートリレー（4人でシートの四隅を持ってボールを運ぶ）をレクリエーションとして検討。令和5年1月25日に施設の全体研修（モチベーションアップ研修「フライシートリレー」）の時間を活用し、実施した。</p>	<p>普段あまり関わりの無い他部署との交流も図られ、「レクリエーション実施後は話しかけやすくなった」など、新たな交流を育むきっかけとなった。</p>		

### Ⅲ. 地域にとって永年愛される企業となるために、「損得」ではなく「善悪」で行動する健全経営に努めること

#### ①経営計画書に基づく行動への変化

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>年2回の社員総会（6月経営計画発表会、11月上旬報告会）を事業所別に開催している。事業が多岐にわたり、各事業の進捗状況や方向性が分かりにくくなってきたことから、令和4年度より「経営計画書」に基づき、社員総会にて各事業の進捗状況・自社の課題・中期計画・単年度計画をより明確にし、行動している。</p>		<p>「経営計画書」では社内ルール、社内共通用語、今期の社内信条なども取り入れ、事業所別に実施していることで、各部署の具体的な説明もできることから、「会議に集中でき、自分の担当部署の課題がよくわかる」、「社員としてのルールが明確になり、あいまいであった言語が共通化され、わかりやすくなった」等の意見が多数挙がっている。</p>

#### ②評価システムを使った会社の考えの共有

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等
<p>社の考え方の共有を一層深めるために社員一人一人に対して、絶対評価による人事評価システムを引き続き導入している。各社員の業務・状況に合わせて本人と上司が話し合い上期・下期と年2回行動目標・数値目標を設定し、中間面談を実施したうえで評価を行う。2か月に1回上司と本人が面談を通じて進捗を確認し、目標達成に向けて考えをすり合わせることで、社の方針や考え方の共有を図っている。</p>	<p>評価システムにおける面談は、特に仕事の細かい部分についての「相談」の場となっており、進む方向性がわからなくなった時や迷った際に非常に役立っている。「上司が忙しそうで聞きづらい」という問題も、この面談を行うことにより、「聞く機会」を部下にきちんと与えることができ、部内の関係性を円滑にしている（令和4年度 評価・目標設定面談2回、中間面談4回実施）。また、この評価システム以外にも年2回のヒアリングを実施している。</p>	

IV. 消費者・社会の要望を踏まえた改善（未来・次世代のために向けた取組み）  
 ～ SDGs を踏まえ、事業を通じて地域課題に取り組む ～

①STEAM教育の推進（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>・「STEAM教育の推進」            あすたむらんど徳島「子ども科学館」において科学・技術・工学・芸術・数学を横断的に体験することで、子どもが自分の興味・関心に基づいて新たな知に出会い、それを活かして自ら何かを創出するプログラムを実施した。            開催日／令和5年5月21日、6月4日、6月18日、7月2日</p>	<p>・キッズ科学教室「STEAMであそぼう」            参加者数:10名            プログラミングを利用し、ビジュアルアート作品やロボットの作成を行い、自分の考えを形にする体験をしていただいた。            参加者1人1人を四国大学学生がサポートしたことで、「やりたいことが形にできて良かった」「1人1人丁寧に指導してもらえて良かった」等ご意見をいただいた。</p>	 	

②「よくとぶひこうき」の実施（あすたむらんど徳島）

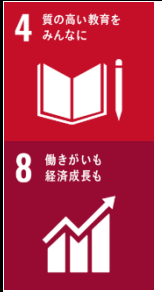

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島「体験工房」            手づくり工房・団体工房において、自ら工夫し考え、発想力を養うプログラムを実施。            「よくとぶひこうき」では、翼の形や位置の違いで飛び方が変わる様子を観察した。今年度は飛行機の重心を図る装置や、よく飛ぶコツ等を参加者に伝えながら工作を行った。</p>	<p>実施期間：令和5年4月10日～5月15日            参加者：1,201名            お客様の声：来年の飛行機作りにも参加し、もっと飛ばせる物を作りたいと次年度開催の要望をいただいた。</p>	 	



### ③「子ども自動車教習所」の実施（全国のショッピングセンターなど集客施設）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>イベント事業では、太陽エネルギーでエコドライブできるソーラーカーを使用した「子ども自動車教習所」を開催した。参加者（子ども）にはスタッフから交通ルールを学びながら、ソーラーカー（電気自動車）を身近に感じていただいた。令和5年度からは持続可能な開発目標・SDGsの目標7「誰もが使えるクリーンエネルギー」の啓発イベントとして、会場内にSDGsを分かりやすく解説したパネルを設置している。</p>	<p>令和5年度は、6日間開催し1,187名のお子様に参加いただいた。来場したお客様からは「子供が楽しみながら交通マナーや安全でクリーンなエネルギーについて学ぶことができた」と好評であった。また、クライアントからも同様にお褒めの言葉をいただいた。</p>		

### ④「あすたむ子ども会社」の設立（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>・「あすたむ子ども会社の設立」（キャリア教育） 令和4年10月16日、本当の仕事の楽しさを体験してもらうために会社設立から株主総会・配当までを子どもだけで行う「子ども会社」を設立し、職業観・勤労観の醸成を図った。</p>	<p>・あすたむ子ども会社 参加者数:32名 子どもたち自身で商品開発から販売までを行うことで、社会の仕組みを体験していただいた。「ものを売る難しさや楽しさについて知り、ビジネスに興味を持った」「イベントで学んだことを活かしたい」等の声をいただき、イベント通じて子どもたちの成長に貢献することができた。</p>		

### ⑤「コウノトリ」の紹介（大鳴門橋架橋記念館）






実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>大鳴門橋架橋記念館では、令和5年6月の環境月間に合わせ鳴門市に生息している「コウノトリ」を紹介し、サステイナブルな環境が生み出す自然の尊さや地域性の紹介を行った。また施設広報時にもSDGsについて学べる施設として紹介することで施設の設置目的に沿った訴求内容とした。</p>	<p>熱心に館内展示物「鳴門の森」の中の「コウノトリ」の紹介をご覧いただく様子やご家族で鳴門市の環境の素晴らしさについて語られる様子も見受けられた。</p>		

⑥女子中高生の理系進路選択支援プログラムの実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等		
	<p>・学校訪問                      「徳島市入田中学校」                      令和4年11月7日13:35～15:35                      参加者数:中学生13名 教員5名                      「阿南市立椿町中学校」                      令和4年11月11日14:20～15:10                      参加者数:中学生4名 教員4名                      「藍住町立藍住中学校」                      令和5年1月18日14:30～15:20                      参加者数:中学生61名 教員4名                      理系進路選択後のロールモデルを紹介することで、理系進路も選択肢の一つとして考えていただく契機となった。</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>8 働きがいも経済成長も</p> 		
<p>あすたむらんど徳島における「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」の実施                      県内の女子中高生を対象に理系進路の選択、そして県内大学の進学や地元企業への就職を選択肢に考えてもらうこと目的に理系分野で活躍する女性研究者・社員の方の講演やサイエンスショーを実施した。</p>	<p>・実験体験                      「LEDを制御する電子回路の世界を体験しよう！」                      令和4年10月29日13:30～15:15                      参加者数:中高生5名 保護者5名                      「食品中の合成着色料を抽出しよう！」                      令和4年10月30日13:30～15:15                      参加者数:中高生17名 保護者12名                      「深海コア試料を観察しよう！」                      令和4年11月19日13:30～15:15                      参加者数:中高生3名 保護者4名                      「カラフル！光る！いい匂い！色んなスライムを作ってみよう！」                      令和4年11月26日13:30～15:15                      参加者数:中高生8名 保護者3名                      最先端の実験を体験する機会を提供すると共に、講師や学生スタッフ自身のロールモデルを紹介することで、「未来の将来像」について考えていただく契機となった。</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  <p>8 働きがいも経済成長も</p> 		



⑦「あすたむで水の大切さを学ぼう」の実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>「あすたむで水の大切さを学ぼう」を実施。徳島県環境技術センター「水すまし隊」を講師に招き、竹で作った水鉄砲で園内の池の水を花壇に散水し、水の大切さを学んでいただいた。</p>	<p>令和5年7月30日実施 参加者数：38名 水の大切さについてのお話を真剣に聞いていただいた。竹の水鉄砲を使っての花壇への水やり体験では、歓声を上げながら体験する子どもや環境保全について「生きていくのにお水は大事だね」などと親子で会話されている様子がみられた。</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  	

⑧「親子ふれあい学習inあすたむらんど」の実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島において「親子ふれあい学習inあすたむらんど」を実施。徳島県地球温暖化防止活動推進員の佐藤貴志氏をお招きし、脱炭素社会の重要性と、小松島高校における河川浄化の取り組みについて解説していただいた。また、世界は空でつながり、空気は自由に動いていることを実感してもらうために、巨大シャボン玉体験も併せて実施した。</p>	<p>実施日：令和4年9月23日 参加者数：39組77名 SDGsに関する活動の説明や「脱炭素」をキーワードとして覚えて帰っていただくように復唱するなど工夫を施した。また、参加者からは、「水素自動車新型MIRAI1 展示やシャボン玉作りを通じて、脱炭素社会の重要性を感じられた」との反応があった。</p>	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p>  	

⑨「お菓子なおもちやと木のおもちや」の実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島「体験工房」において手づくり工房11月「お菓子なおもちやと木のおもちや」を実施。県内企業へ協力を仰ぎ、企業活動から出る廃材パッケージを活用した工作教室をお客様から要望が多かった自由工作で実施した。</p>	<p>期間：令和4年11月1日～11月29日 参加者数：416名 お客様の声：材料を自由に選べたことや普段使えない工具（のこぎり）を使って工作できたのがいい経験になったとの感想をいただいた。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  	



⑩「スイーツレジンチャーム」の実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島「体験工房」において手づくり工房「スイーツレジンチャーム」を実施した。 県内企業へ協力を仰ぎ、廃棄予定の化粧品を人気メニューのレジン工作に取り入れた。</p>	<p>期間：令和5年2月1日～2月28日 参加者数：773名 選択肢も豊富に準備していたため、複数個作製されるお客様も見られた。年齢、性別を問わず人気のメニューであった。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	 

⑪SDGsワークショップの実施（とくしまマルシェ）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等		
<p>「とくしまマルシェ」にて毎月SDGsワークショップを開催している。まずは、SDGsって何だろう？とSDGsを知ってもらうことを目的とし、様々なワークショップを通して実際に体験していただき関心を持ってもらえるよう取り組んでいる（令和5年度実施回数4月～10月最終日曜日7回開催）。</p>	<p>毎月、基本的にお子様向けワークショップであるため、参加者は10人前後と多くはないが、体験していただいた方からは、楽しく学ぶことができたと好評であった（参加者数136名）。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 	  	

⑫「TAG-RI-BAカフェ」の運営（四国大学交流プラザ）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>「四国大学交流プラザ」では、「TAG-RI-BAカフェ」開店当初、コールドドリンクはプラスチックコップで提供していたが、ガラスコップでの提供に変更し、プラスチック使用削減に努めている。</p>	<p>期間：令和5年4月1日～10月31日 カフェ利用客数：1,622名</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>14 海の豊かさを守ろう</p> 	

⑬木の廃材等を使用した工作メニューの提供（川口ダム自然エネルギーミュージアム）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等		
<p>「川口ダム自然エネルギーミュージアム」において木の廃材や再生素材を使用した工作メニューの提供                      開催日：令和5年5月7日、8日、14日、15日、21日、22日、28日、29日</p>	<p>木の廃材を利用した「木のキーホルダー」を実施した。大人だけの参加や「孫に持って帰りたい」と話されるお客様のほか、「家でさらに加工したい」のお声もいただき、廃材からの再利用を楽しんでいただけた（参加者数185名）。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> 		

⑭「阿波ふうどフェスティバル」の実施（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等		
<p>あすたむらんど徳島において「阿波ふうどフェスティバル」を実施した。徳島の食「阿波ふうど」の魅力を身近に体感し、県産品の魅力発信と需要喚起を図るとともに「食育」や「地産地消」に繋げることを目的に、「徳島マルシェ」出店者やJA全農による県産品の販売、移動販売車による県産品を使った飲食の販売を実施した。また、県のPRトラック2台による試食も併せて行った。その他、陸上自衛隊第14音楽隊や徳島商業高等学校、城ノ内中等教育学校・高等学校音楽部、板野中学校音楽部による演奏会、大道芸人によるパフォーマンスなども実施した。</p>	<p>実施日：令和4年10月22日23日                      参加者数：計13,845名                      （22日5,644名、23日8,201名）                      出店者数：32事業者                      出演団体：9団体                      参加者からは「これほど盛況なイベントは初めて。多種多様な飲食店・物産市で楽しめた」「色々な食べ物屋さんがあって歩いてお目当てを探すのが楽しい」「年代を問わない交流の場であった」「子ども達の発表の場を提供してくれて有難い」との声をいただいた。</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>  <p>17 パートナースHIPで 目標を達成しよう</p> 		



⑮生態系を学ぶイベント（あすたむらんど徳島）

実施内容	成果（利用者の反応や数値等）	実施した内容がわかる画像・データ等	
<p>あすたむらんど徳島「子ども科学館」実施イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「四国にもいるクマ～絶滅の危機～」 令和5年2月5日開催</li> <li>・「剣山サポーターズクラブ活動パネル展」 令和5年2月27日～3月12日開催</li> <li>・「あすたむのエコを学ぼう」 令和5年3月5日開催</li> </ul>	<p>・講演会「四国にもいるクマ～絶滅の危機～」 剣山系でのツキノワグマの生息状況や保護に必要な対策等人とクマが共生する豊かな自然環境を守る活動について紹介した。 参加者数:24名</p> <p>・「剣山サポーターズクラブ活動パネル展」 剣山系の自然保護活動に関するパネルを展示し紹介を行った。 参加者数:696名</p>		
	<p>・ファミリーサイエンス教室 「あすたむのエコを学ぼう」参加者数:9名 「あすたむの森」の腐葉土・土壌を採取のうえ土壌生物を観察し、エコロジー（生態系）と炭素循環について学んでいただいた。参加者1人1人を四国大学学生がサポートしたことで、「やりたいことが形にできて良かった」「1人1人丁寧に指導してもらえて良かった」等ご意見をいただいた。</p>	